

持続可能な開発目標達成に向けた国際教育協力日本フォーラム(16th JEFFforSDGs)
「持続可能な成長を担う次世代の教育の現状と課題 一乳幼児期に注目してー」

ESDの視点に立った幼児教育 —森の幼稚園の子ども達の姿を通して—

2019. 2. 22

広島大学附属幼稚園
副園長 中邑 恵子

会場:文部科学省第1講堂



「森の幼稚園フォーラム」にて
撮影 小西貴士

本日の流れ

- 1 園の紹介
 - 2 教育目標・目指す子ども像
 - 3 「森の幼稚園」として
 - 4 研究内容
 - 5 自然を生かした保育の実際
 - 6 小学校教育とのつながり
- おわりに

3

1 園の紹介(立地)



5

1 園の紹介(立地)



7

<略歴>

広島大学学校教育学部 卒業

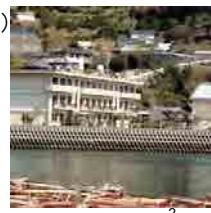
広島県 呉市・東広島市公立小学校 4校 教諭

広島県 東広島市公立小学校 1校 教頭

広島県 東広島市公立幼稚園 1園 園長

広島県 吳市・東広島市公立小学校 2校 校長

広島県 広島大学附属幼稚園 副園長(2016~)



2

1 園の紹介(立地)



広島県東広島市

4

1 園の紹介(立地)



6

1 園の紹介(概要)

学級編成・教職員の構成 (4月現在)

○学級編成: 3歳(年少)ほし組 定員20名(20)

4歳(年中)うみ組 定員30名(29)

5歳(年長)そら組 定員30名(27)

計80名(76)

○職員構成: 園長・副園長・教諭3名・養護教諭

非常勤講師4名

事務職員 研修教諭

計12名

非常勤講師4名

事務職員 研修教諭

1 園の紹介(概要)

- ・<保育時間>
- ・8:50~14:00(月、火、木、金)



○保護者送迎

○弁当持参

○保育料…公立幼稚園と同じ
(年間73200円)

9

1 園の紹介(概要)

安全管理



- ・保育中は警備員在駐
- ・防犯カメラの設置
- ・定期的な避難訓練



11

3 「森の幼稚園」として



3 「森の幼稚園」として

- ・1990 広島市より現在の場所に移転
- ・2006 「森の幼稚園」構想開始
- ・2008 ドイツの森の幼稚園視察(教諭)
- ・2009 試行的に「森の日」実施(5歳児)
- ・2010~ 全年齢で「森の日」開始(週1回程度)
※「森の日」:保育室を使わずに一日中森で過ごす
- ・2016~2019(文部科学省より指定)
「持続可能な社会の担い手となるための教育課程の研究開発(ESD)」研究開始
- ・2017 ユネスコスクール登録

15

1 園の紹介(概要)



健康管理



健康診断・保健指導



学校保健委員会
(園医・保護者・園)

10

2. 教育目標・目指す子ども像



■教育目標■

豊かな自然や友達とかかわりながら、一人一人がその子らしさを發揮し、共に育ち合う生活を通して、心豊かにたくましく生きる力を育む

■目指す子ども像■

(自己)自らしようとする遊びや生活に向かって、生き生きと取り組む子ども

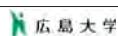
(他者)友達と心を通わせ、協力して遊びや生活を創り出す子ども

(環境)身近な環境に心を動かし、かかわりを深めようとする子ども

12



3 「森の幼稚園」として



「森の幼稚園」構想

(「身近な自然を活かした保育実践とカリキュラム」松本信吾編著・広島大学附属幼稚園監修より抜粋)

現状の課題

- ・目に見える能力・学力の伸張を目指す風潮
- ・体力・身のこなしの低下
- ・意欲や夢を持ちにくい子どもの増加

森での遊びや生活で

必要な体験の保障

幼児に必要な体験

- ・生活や遊びを通した学び
- ・森での遊びを通した体力・バランス感覚の向上
- ・好奇心、想像力、成就感を満たす生活

53

16

4 研究について

■研究■

文部科学省研究開発学校3年次

<研究開発課題>

持続可能な社会の担い手となるために、その基盤となる態度や資質・能力を明らかにし、「自然とのつながり」と「人とのつながり」の直接体験を通してそれらを育成する幼児期の教育課程の研究開発

ESDの視点...持続可能な開発のための教育

17

4 研究について

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



4 質の高い教育をみんなに



「教育は全てのSDGsの基礎」であり、ESDは持続可能な社会の担い手づくりを通じて、17全ての目標達成に貢献します。

(出典:「ESD推進の手引き」)

19

4 研究について(研究構想図)

ESDの視点

ひろしま自然保育認証園

ユネスコスクール

本園で育てたい能力・態度の概念図



21

※日本の幼稚園教育施設について

小学校以上の学校教育

<知識・技能> <思考力・判断力・表現力等> <学びに向かう力・人間性等>

知識・技能の基礎

思考力・判断力・表現力等の基礎

学びに向かう力・人間性等

	幼稚園	保育所	認定こども園
所管	文部科学省	厚生労働省	文部科学省・厚生労働省
根拠法令	学校教育法	児童福祉法	就学前の子どもに関する教育・保育の総合的な提供の推進に関する法律
保育対象年齢	3歳児～就学前	乳児0歳～就学前	乳児0歳～就学前
目的	幼児を教育し、適切な環境を与えて、その心身の発達を助長すること	保護者の委託を受けて、保育に欠ける乳児または幼児を保育すること	幼稚園及び保育所等における小学校就学前の子どもに対する教育及び保育、並びに保護者に対する子育て支援を総合的に提供すること
教育課程編成基準	幼稚園教育要領	保育所保育指針	幼保連携認定こども園教育・保育指針

54

4 研究について



貧困

人権

環境

平和

現代社会の様々な課題を自らの問題としてとらえ、解決に向けて身近なところから取り組むこと

価値観

行動

ESD

持続可能な社会をつくることにつながる

18

4 研究について

本園で進めるESDとSDGsの関連

本園のESDの視点に立った保育

- I 多様性
- II 相互性・循環性
- III 有限性
- IV 公平性
- V 連携性
- VI 責任性

SDGsの17の目標の解決につながる！

20

4 研究について(本園教育課程)

表： 広島大学附属幼稚園教育課程（抜き作り）			
期の特徴	Ⅰ期（4月～6月）	Ⅱ期（6月～10月）	Ⅲ期（11月～3月）
自己の側面	保育園や家庭に安心しなが ら、安全な環境にかかわる ための時間	保育園や家庭に安心しなが ら、安全な環境にかかわる ための時間	身近な環境に安心しなが ら、安全な環境にかかわる ための時間
他者の側面	●自分にしたいことを見つけ、 やってみようとする	●保育者や友達とかかわり ながら、遊びを楽しむ	●やりたい遊びに挑戦する
環境の側面	●自分にいるものに会い、見 たり触ったりしようとする	●身近な様々なものとかか わりながら、面白さや驚 きなどを感じる	●身近なものがあながら、それらを 使って遊ぶ
期の特徴	Ⅳ期（7月～9月）	Ⅴ期（9月～12月）	Ⅵ期（1月～3月）
自己の側面	保育園や家庭に親しみなが ら、安全な環境にかかわる ための時間	保育園や家庭に親しみなが がら、安全な環境にかかわる ための時間	身近な環境に親しみながら、一 緒に遊びことを楽しむ時間
他者の側面	●新しい生活に慣れて、遊び ことを楽しむ	●好きな遊びを見つけ、そ れをすることで満足感を 得る	●自分なりのめあてに向かっ て、自ら取組もうとする
環境の側面	●保育者や友達に親しみなが ら、共に過ごすことを 喜ぶ	●いろいろな友達がいるこ とに気づき、かかわってい こうとする	●思い出し合いながら、友達 と一緒に遊ぶ喜びを感じる
期の特徴	Ⅶ期（1月～6月）	Ⅷ期（6月～12月）	Ⅸ期（1月～3月）
自己の側面	●自分にできることがあ る、自分で楽しむ生活を進 めていく時間	●自分にできることがあ る、自分で楽しむ生活を進 めていく時間	●身近な環境で、遊びを楽しむ 時間
他者の側面	●自分にいるものとかか わりながら、身近な 環境や物を楽しむ	●いろいろな友達がいるこ とに気づき、かかわってい こうとする	●身近なものを見立てたり試 したりしながら遊ぶ
環境の側面	●友達とのつながりを感じ ながら、自分の力を試してい く時間	●友達とのつながりを感じ ながら、自分の力を試してい く時間	一人一人がその子らしい姿を発 揮しながら、園での生活を経験 していく時間
期の特徴	Ⅹ期（7月～9月）	Ⅺ期（9月～12月）	Ⅻ期（1月～3月）
自己の側面	●自分の力を試しながら、 進んで遊びや生活に取り 組む	●自分のできることをや やかましく見つけて取 組もうとする	●自分らしさを発揮しながら、 自信をもって生活する
他者の側面	●遊びに遊んだり活動した りする中で、友達と思い を伝え合おうとする	●友達と共に遊ぶためであ りて、友達と一緒に遊ぶ	●互いのその子らしいを感じ ながら、友達と一緒に遊びや生活を進 めていく時間
環境の側面	●身近な環境とのかかわり を広げながら、遊びを 充実させていく	●自分たちで考えたり工夫 したりしながら遊び	●遊びや生活をよりよくする ために、考えを練らせたり、考 え直したり

5 自然を生かした保育の実際

「森の日」とは…

基本は月1～2回

- 森の広場に登園し、一日中、森で過ごす。



○森や山際での遊びをたっぷり楽しむ。



○森に抱かれる心地よさを感じる。

24

5 自然を生かした保育の実際

「森の日」とは…

森の達人

インターブリター …子ども達と自然をつなぐ
保育者と自然をつなぐ

森の日のルールは2つ

- 自分の腕より細い枝には登らない。
- 自分の腕より長い枝は持ちません。

- ・自然の中で子どもも**保育者**も安心・安定する。
- ・見守る**保育**ができる。

→ 遊びこむことが可能になる

25

5 自然を生かした保育の実際

身近にあるたくさんの食べられるものの発見(味覚)



26

5 自然を生かした保育の実際

危険と危険でないものの認知(触覚)



27

5 自然を生かした保育の実際

危険と危険でないものの認知(触覚)



28

5 自然を生かした保育の実際

保育室内

自然の中

- ・禁止、制約が多い。
- ・保育者が叱ったり、止めたたりすることが多くなる。

- ・したいことが伸び伸びできる。
- ・保育者が叱る必要がない。

✗遊び込みにくい
✗保育者がNoとい
いやすい

○遊び込みやすい
○保育者がyesと受け止めやすい

29

5 自然を生かした保育の実際



自然の中での遊び ※同じものはない

30

5 自然を生かした保育の実際



自然の中での遊び ※美しさがある

31

7 小学校教育とのつながり

新体力テストにおける卒園児の結果と全国平均(2015)の比較

	1年	2年	3年	4年	5年	6年						
男児	○	×	×	○	×	◎	×	○	×	○	×	
女児	○	○	△	○	×	○	×	○	△	○	△	○
上体起こし	○	×	×	○	×	○	×	○	△	○	△	○
反復横跳び	○	○	△	○	×	○	×	○	○	△	○	△
20秒シャトルラン	○	○	×	○	×	○	×	○	○	△	○	○
50メートル走	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	△
立ち幅跳び	×	○	△	○	×	○	△	△	○	△	○	○
ボール投げ	×	○	×	△	×	×	×	○	×	×	×	○

標準学力検査(NRT)における卒園児の結果と全国平均(2013)の比較

	2年	3年	4年	6年
国語	○	○	○	○
算数	○	○	○	○

×:非有意性 △:P<0.10 ○:P<0.05 ◎:P<0.01

(「自然なか白鳥先生」を保育室壁面に貼り付けた上に、

55

32

7 小学校教育とのつながり(保護者・小学校教師の声)

<生活面>

- ・ランドセルを背負って徒步で通学することがつらそうだった。
- ・交通ルールを知らないことが多い。
- ・知っている友達がほとんどいない(各公立小へ数名ずつの入学)でも、始めだけ今は友達も多い。
- ・学校では木に登ってはいけない、花壇の花は採ってはいけないなど初めて知るルールがあったようだ。
- ・伝統的な遊び(けん玉)が得意で学級のチャンピオン。

<学習面>

- ・文字を書けないので心配だったが、「知る」「できる」喜びを感じながら学習している。
- ・自然や生き物への興味・関心が高く、積極的にかかわり、生活科や理科の学習に意欲的。調べる方法を知っている。
- ・発想力が豊かで話し合いでの建設的な考え方やアイデアを生かした制作活動を行うことができている。

33

おわりに

本園で進めるESDとSDGsの関連

本園の E S D の視点に立った保育

- | | |
|---------|------------|
| I 多様性 | II 相互性・循環性 |
| III 有限性 | IV 公平性 |
| V 連携性 | VI 責任性 |

SDGsの17の目標の解決につながる!

34



ご静聴ありがとうございました